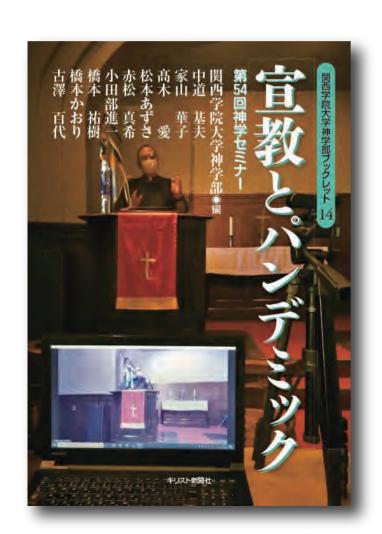
関西学院大学神学部ブックレット14

宣教とパンデミック

第55回神学セミナー



関西学院大学神学部◎編

中道基夫、家山華子、高木愛、 松本あずさ、赤松真希、小田部真一、 橋本祐樹、橋本かおり、古澤百代◎著

コロナ禍によって、これまで守ってきたあり方を大きく揺さぶられた教会。それは新しい 技術の導入の面だけでなく、信仰・礼拝・伝道の基本的な部分をも問われ、新しい宣教、新 しい教会のあり方の選択を余儀なくされるものであった。

それは旧来の教会のあり方や神学からの解放であると同時に、本当に大切なものを手放してしまう危機でもある。過去、現在、未来の宣教について、神学と教会現場の対話を通し、分断され、孤立しがちなこの時に、今私たちが何を選択すべきなのかを共に考える。

▶シリーズ好評発売中!

- ① 信徒と牧師
- ⑥ 若者とキリスト教
- ① 高齢社会と教会

- ② 癒しの神学
- ⑦ 宣教における連帯と対話
- ② 聖書と現代

- ③ 子どもと教会
- ⑧ 教会とディアコニア
- ③ 音楽と宣教と教会

- ④ 礼拝の霊性
 - 自死と教会
- 9 平和の神との歩み
- 会 ⑩ 地域福祉と教会